

京都大学文学研究科修士修了生アンケート集計結果

平成 31 年 3 月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・終了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。平成 30 年度修士課程修了生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

今年度は修士課程修了生 85 名に対して、68 名より回答を得ることができ、回答率は 80% に達した。

回答結果の傾向は例年と変わらない。Q.05「あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？」では、約 97%の方が「充分」または「それなり」に満足していると回答しており、文学研究科の大学院教育に対する満足度が非常に高いことがうかがわれる。また、Q.04の「京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？」について、約 80%の方が自学自習の能力が「充分」または「ある程度」養われるような形で行われていると回答している。

Q.07「文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？」(複数回答可)では、「自分で問題を発見し、解決を図る能力」がもっとも高く、これも文学研究科の教育の特長が反映されていると思われる。また、「専門的知識」と「専門分野の研究能力」も高い選択率を示しており、大学院教育の特長ということが出来る。さらに、学部卒業生アンケートとは異なり、「国際感覚」や「外国語の能力」の選択率も比較的高く、大学院教育では外国語能力の強化や国際性の涵養により成功していることを示しているが、過半数には達しておらず、なお工夫の余地があるように思われる。

文学研究科のディプロマ・ポリシーの達成状況については(Q.09~12)、Q.09~11についてはいずれも「達成できた」と「ある程度達成できた」をあわせると、80%ほどの高い達成率になるが、Q.12「研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学力を身につけている。」については、「達成できた」と「ある程度達成できた」の合計がほぼ半数にとどまり、国際的な発信力の強化については今後の改善が必要であろう。

【自由記述欄】

記述はそれほど多くはないが、昨年度同様、自由度・自主性を評価しつつもその問題点を指摘する意見、研究室の運営を院生に頼りすぎている面への批判は傾聴に値するであろう。

アンケート名 平成30年度修士課程修了者アンケート

部局 文学研究科

対象者数 85

回答者数 68

回答率 80

結果 (Q.01) あなたの出身大学・学部等についてお聞きします。

A: 京都大学以外の日本国内の大学 (20票/29.4%)

B: 京都大学の他学部、研究科等 (2票/2.9%)

C: 京都大学文学部 (34票/50%)

D: 日本以外の大学 (11票/16.2%)

E: その他 (1票/1.5%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.02) あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？

A: 学部入学後 (14票/20.6%)

B: 系分属後 (2回生のとき) (0票/0%)

C: 専修分属後 (3回生のとき) (21票/30.9%)

D: 4回生になってから (24票/35.3%)

E: 大学卒業後、社会に出てから (7票/10.3%)

F: その他 (1票/1.5%)

G: 無回答 (1票/1.5%)



(Q.03) 進学動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？ (複数回答可)

A: あなたが選んだ研究分野についてより深く学びたいと思った。(51票/75%)

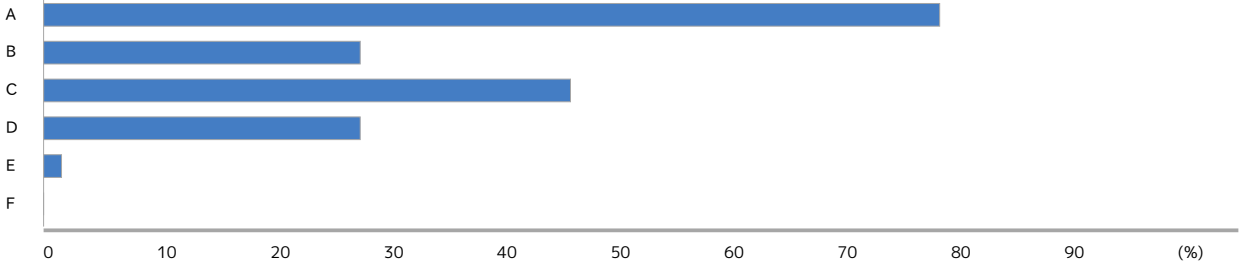
B: 大学院での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。(18票/26.5%)

C: 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。(30票/44.1%)

D: 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。(18票/26.5%)

E: その他 (1票/1.5%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？

A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。(29票/42.6%)

B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。(25票/36.8%)

C: どちらとも言えない。(8票/11.8%)

D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。(5票/7.4%)

E: その他 (1票/1.5%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.05) あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？

A: 十分に満足している。(35票/51.5%)

B: それなりに満足している。(31票/45.6%)

C: どちらとも言えない。(2票/2.9%)

D: 後悔している。(0票/0%)

E: その他 (0票/0%)

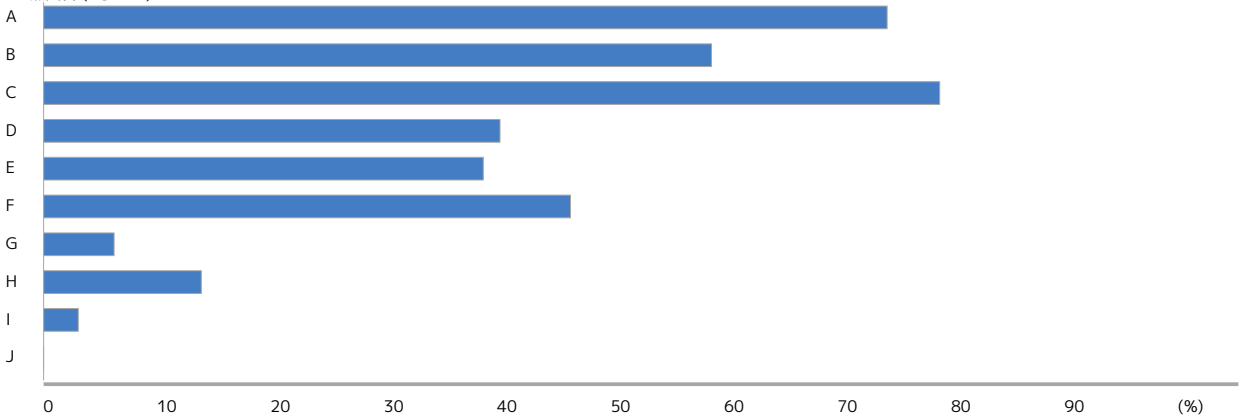
F: 無回答 (0票/0%)



- (Q.06) 4月以降の進路についてお聞きします。
 A: 博士課程進学（他大学も含む）(26票/38.2%)
 B: 博士課程進学の準備 (3票/4.4%)
 C: 一般企業に就職 (24票/35.3%)
 D: 官庁、地方自治体等に就職 (7票/10.3%)
 E: 教員、司書等の専門職に就職 (3票/4.4%)
 F: その他 (1票/1.5%)
 G: 無回答 (4票/5.9%)



- (Q.07) 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。（複数回答可）
 A: 専門的知識 (48票/70.6%)
 B: 専門分野の研究能力 (38票/55.9%)
 C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (51票/75%)
 D: 一般的な教養 (26票/38.2%)
 E: 国際感覚 (25票/36.8%)
 F: 外国語の能力 (30票/44.1%)
 G: リーダーシップ (4票/5.9%)
 H: 社会的常識 (9票/13.2%)
 I: その他 (2票/2.9%)
 J: 無回答 (0票/0%)



- (Q.08) 差し支えなければ、あなたが属していた専攻を教えてください。
 A: 東洋文献文化学 (8票/11.8%)
 B: 西洋文献文化学 (6票/8.8%)
 C: 思想文化学 (8票/11.8%)
 D: 歴史文化学 (15票/22.1%)
 E: 行動文化学 (20票/29.4%)
 F: 現代文化学 (9票/13.2%)
 G: 無回答 (2票/2.9%)

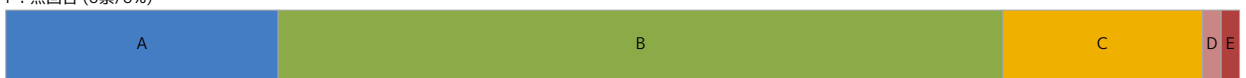


(Q.09) 以下、Q.09からQ.12で、文学研究科のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

- 哲学・歴史学・文学・行動科学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。
 A: 達成できた (8票/11.8%)
 B: ある程度達成できた (44票/64.7%)
 C: どちらとも言えない (12票/17.6%)
 D: あまり達成できなかった (2票/2.9%)
 E: 達成できなかった (2票/2.9%)
 F: 無回答 (0票/0%)



- (Q.10) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の分析に基づいてオリジナリティを有する研究を進める能力を身につけている。
 A: 達成できた (15票/22.1%)
 B: ある程度達成できた (40票/58.8%)
 C: どちらとも言えない (11票/16.2%)
 D: あまり達成できなかった (1票/1.5%)
 E: 達成できなかった (1票/1.5%)
 F: 無回答 (0票/0%)



(Q.11) 専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

- A: 達成できた (20票/29.4%)
- B: ある程度達成できた (35票/51.5%)
- C: どちらとも言えない (11票/16.2%)
- D: あまり達成できなかった (1票/1.5%)
- E: 達成できなかった (1票/1.5%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.12) 研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。

- A: 達成できた (9票/13.2%)
- B: ある程度達成できた (25票/36.8%)
- C: どちらとも言えない (15票/22.1%)
- D: あまり達成できなかった (16票/23.5%)
- E: 達成できなかった (3票/4.4%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.13) その他意見・要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- 回答無し